

きくたけ



好間中学校だより

平成30年12月3日発行 第12号

発行責任者 渡邊昌和



○全国学力・学習状況調査より

全国の中学3年生を対象に、4月17日(火)に実施された「全国学力・学習状況調査」結果について、過日結果が発表されました。この調査では、「国語」「数学」「理科」の学力状況と、「生活・学習状況」に分かれて、大きく2種類の調査が行われました。数値に関して、報道以外のものは公表できないこととなっていますが、好間中3年生の概要について、保護者の皆様にお知らせいたします。

1. 学力調査の状況から

※好間中の欄 →

※「福島県」の平均値と比較し、
 ±1未満であれば 「未記入」
 ±1以上～3未満であれば 「+ or -」
 ±3以上～5未満であれば 「++ or --」
 ±5以上であれば 「+++ or ---」

【国語A】

(主として「知識」に関する問題)

領域	話す聞く	書く	読む	知識理解	平均正答率
好間中	+	+++	++		+
県平均	73.8	72.8	75.8	76.3	76.0
全国平均	75.2	73.9	76.7	76.5	76.1

【国語B (主として「活用」に関する問題)】

領域	関心・意欲・態度	話す聞く	書く	読む	知識理解	平均正答率
好中	-	++	-		+	
県	49.2	76.4	30.2	52.7	48.4	61.0
全国	50.3	76.6	31.3	53.5	49.2	61.2

《課題と対策》

- 文を書く力が弱い。(文の順序・構成力)
- 身に付けている語彙の数が少ない。
- 漢字が確実に身につけていない。



- 授業や日常生活で「書く」場面を増やし、添削の機会なども積極的に設ける。
- 辞書の使用や漢字の(反復)練習を促進させ、語彙力をつけさせる。
- 読書機会・読解力の増加。

【数学A (主として「知識」に関する問題)】

領域	数と式	図形	関数	資料活用	平均正答率
好間中	-	--	++	--	-
県平均	70.3	66.7	51.3	58.9	64.0
全国平均	71.1	69.1	55.5	58.9	66.1

【数学B (主として「活用」に関する問題)】

領域	数と式	図形	関数	資料活用	平均正答率
好間中		++	+	--	
県平均	49.0	42.9	51.1	34.3	44.0
全国平均	51.1	46.7	52.8	38.0	46.9

《課題と対策》

- 「数と式」の等式変形や、「図形」の立体認識が苦手。
- 立式に必要な情報を問題文から取り出すなど、文章の読み取りが苦手。
- 基礎学力向上コンテストや、入試対策の一環で集中的に取り組む機会を設ける。
- 領域毎の「プリント学習」機会を増やし、類題・応用題に慣れさせる。
- 授業の中で、問題読み取りに関して質問を設定し、確認機会を増やす。



【理科】

領域	1分野「物理領域」	1分野「化学領域」	2分野「生物領域」	2分野「地学領域」	平均正答率
好間中	+++				
県平均	73.0	65.0	73.3	56.6	66.0
全国平均	74.4	65.0	72.5	57.8	66.1

《課題と対策》

- 2分野の生物的領域や、地学的領域の1年段階の設問などは理解度が低い。
- 回答に関して、「無回答率」が全国に対して低い。
- 湿度・オームの法則・濃度などを求めるのに必要な計算力を強化していく。
- 教科書に載っていない発展的内容や、日々のニュースにも目を向けさせていく。



【生活状況調査の結果から】 *福島県の数値と比較した、好中生のアンケート結果

《好間中生が、より「肯定的な」「積極的な」「行っている」項目の『ベスト3』

- No. 1 「家の人(兄弟姉妹を除く)と学校の出来事について話をする」・・・県75.1<好中+++
- No. 2 「家で、学校の宿題をする」・・・県91.5<好中+++
- No. 3 「将来の夢や目標を持っている」・・・県74.4<好中++



※以下、「学校の規則を守る」「人の役に立つ人間になりたい」等の項目

《好間中生が、より「否定的な」「消極的な」「行っていない」項目の『ベスト3』

- No. 1 「今住んでいる地域の行事に参加していますか」・・・県43.2>好中---
- No. 2 「自分には、よいところがあると思いますか」・・・県79.1>好中---
- No. 3 「地域を調べたり、地域の人と関わったりする機会がありますか」・・・県75.1>好中---



※以下、「朝食を毎日食べている」「新聞を読んでいる」等の項目

《課題と対策》

- 「自分にはよいところがある」の回答数値が低目で、自己肯定感がやや弱い。
- 宿題には取り組んでいるが、自主的な予習復習の割合が少ない。
- 地域の行事やボランティアへの参加率が低い。
- 頑張っていること、良くなってきたこと…などに関して、周囲の期待や比較・成功…からではなく、以前の状況から見た成長・良さ・努力などを認めていく。
- TV・SNSなどの、受け身・瞬間的な刺激よりも、読書・新聞・コミュニケーションといった、じっくり考え・情操や思考力を育む体験を増やしていく。
- 地域行事への参加や、地域の方々と交流するような機会を増やしていく。

【総括】 全国学力・学習状況調査は、3年生全体の傾向分析が中心であり、好間3年生は、県内でもほぼ平均的な力を身に付けている…と見ることができます。しかし、今後《課題と対策》で挙げてきたような課題や、個別・具体的な支援、また、1・2年への対応などを、学校と家庭の双方で意識しながら、息長く取り組んでいくことが必要です。今後とも教師と保護者が協力し・補完し合いながら、子ども達のためにそれぞれの立場で力を尽くしていければと思っています。ご協力のほどよろしくお願いいたします。